



演目「狐剣舞」滑田鬼剣舞保存会

企画展「おに×どうぶつ展」

鬼は変幻自在の力をもつもの。

神社祭礼の先導をする「牛鬼^{うしおに}」、不思議な足さばきで舞う鬼剣舞演目「狐剣舞」…。動物の姿をしたものや、動物をモチーフにしたアイテムを身に着けている鬼がいます。視点を世界の鬼的存在に移してみると、日本と同様に動物の姿をした神や精霊が信仰されています。

多種多様な鬼の中から、今回は特に「ウシ」「トラ」「キツネ」「ヘビ」など動物と習合した要素をもつ鬼の仮面や錦絵などを展示し、鬼たちの姿かたちを紹介しました。

鬼の館令和元年度上半期をふりかえって

新収蔵資料展

4月20日から6月16日まで、特別展「新収蔵資料展」を開催しました。この特別展は、平成27年度以降、当館に寄贈された資料を公開し、鬼の多様性を伝えることを狙いとしています。

公開された資料は、インドネシアの影絵人形ワヤン・クリットなど、計9件です。なかでも、長沼鬼剣舞の子ども用衣装は、かつて地域に伝承されていた鬼剣舞の姿を辿ることが



影絵人形
ワヤン・クリット

ができる貴重な資料です。長沼鬼剣舞は、明治32年に金ヶ崎町長志田から伝承されますが、一時中断し、大正12年に改めて御免町鬼剣舞の指導を受けます。地元の中学生が踊りを習得するなど、活発な活動が行われていました。

そのほかにも、大乗神楽で使用する幣束を展示しました。大乗神楽とは、北上・花巻地方で修験山伏によって伝承されてきた神楽のことで、踊りの所作に修験の要素が色濃く残っています。舞を舞うとき、演目によっては舞い手が幣束を持ちます。幣束とは、御神体に用いたり、罪やけがれを祓うために使用したりするものです。大乗神楽で使用する幣束は、演目によって異なる形に作られます。今回は和賀大乗神楽が七つの演目で使用した幣束を展示しました。特殊な形に作られた幣束を一同に展示したことで、来館者の関心を高めていました。



展示の様子

大乗神楽大会

6月9日に第25回大乗神楽大会が開催され、201人のお客様に御鑑賞いただきました。今年はテーマを「うるわしく、新たな息吹を」と題し、青少年によるはつらつとした公演や、第3回大会以来23年ぶりに花巻市の北笹間大乗神楽保存会が出演するなど、5団体全13演目を披露しました。また、今回は北上市成田の成田神楽保存会が特別出演しました。演目「鶏舞」では、二人の舞い手による華麗な舞を披露していただき、来館者からは熱い視線が送られていました。



鶏舞
(成田神楽)

夏季わんぱく講座「鬼剣舞体験」

夏の講座に集まった鬼剣舞大好き鬼ッズは13人でした。北上市内から8人、花巻市から2人、そして盛岡市から参加した3人(かわいい三つ子ちゃん)です。

半分以上が未就学児でしたが、小学生を中心によく練習に取り組みました。「三番庭の狂い」の扇の回し方や手の返し方など、でんでんこ(鬼剣舞)の先生に教わりながら少しずつ上手になっていきました。

そして迎えた発表会当日(8月14日)。この日は岩崎鬼剣舞芸能公演の日でしたが、たくさんのお客様やご家族に見守られながら、生き生きと跳ねるように踊り切った13人の鬼ッズ達。満足そうな笑顔があふれていました。



でんでんこの先生と記念写真

わくわくイベント

鬼の館の恒例行事「わくわくイベント」を、若葉輝く5月こどもの日に開催しました。当日は天候に恵まれ、およそ1,000人ほどのお客様でにぎわいました。

このイベントでは、親子で楽しめる遊びや体験のコーナーをいくつか設けています。鬼剣舞の衣装体験や面塗体験は、鬼の館オリジナルの体験として人気がありますが、他にも様々な方から協力を得て楽しいコーナーを設置しています。

その一つに「工作コーナー」があります。北上市少年少女発明クラブの先生方にお出でいただき、2～3種類の工作を指導していただいています。子ども達の興味関心をくすぐるような楽しい工作を、



工作コーナー(少年少女発明クラブ)

材料、下準備万端でたくさん用意して来館いただけます。毎年、イベントが終了する前に用意した材料がなくなり店じまいする、そんな人気のコーナーになっています。また、生涯学習文化課の指導員による遊びコーナーでは、得点を挙げるたびに楽しそうな歓声が響きました。前館長の高橋さんの協力による缶バッチコーナーも人気でした。館内のあちらこちらにゆらめくようかい風船のヘリウムガスは、岩手酸素株式会社様より無償で提供いただいたものでした。皆様のご協力に感謝しております。ありがとうございました。



フリスビー・ストラックアウト
(北上市生涯学習文化課)

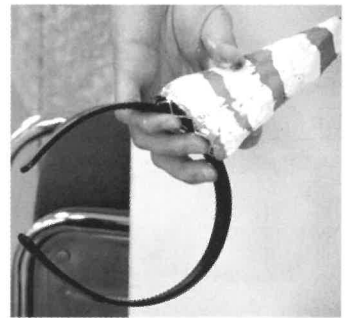


ようかい風船コーナー

ワークショップ

今年の夏休みワークショップでは、「和紙で作る鬼のツノかざり」と題して、オリジナルの鬼の角を張り子で作る工作ワークショップを行いました。このワークショップでは、金網を鬼のツノの形に丸め、その上に張り子紙や、和紙を張り付けて、鬼のツノを作ることができます。出来上がったツノは、カチューシャに接着し、最後には、頭に着けられるようにしました。

様々な動物の姿から想像された鬼たちが紹介されていた企画展「おに×どうぶつ展」と関連して、参加者の方が思い浮かべた、自分だけの鬼を作ることを体験してみるワークショップでした。



カチューシャに取り付けたツノ

ナイトミュージアム

9月7日に「^{おうまがとき}逢魔が時ナイトミュージアム」を開催しました。展示室解説会、コンサート、鬼剣舞公演を行い、多くの方に「逢魔が時」の時間を楽しんでいただきました。

アコーディオン奏者の^{ひだ}肥田葉子さんによるコンサートでは、肥田さんが作曲した曲など様々な曲を演奏していただきました。アンコールの「パプリカ」では曲に合わせて踊るお子さんの姿も見られ、和やかな雰囲気となりました。また、鬼剣舞公演では今年創立50周年を迎えた岩崎鬼剣舞スポーツ少年団が、一番庭など3演目を披露しました。踊り手だけではなく、少年団員によるお囃子にも注目が集まっていました。



左から佐々木嶺さん、肥田葉子さん、伊藤一平さん

企画展「おに×どうぶつ展」

主任学芸員 相原 彩子

令和元年 7月13日から10月14日まで、企画展「おに×どうぶつ展」を開催しています。この展示では、鬼の中から動物の要素をもつ鬼をご紹介します。今回は展示資料の中から、牛の要素を合わせもつ鬼をご紹介します。



展示中の「牛鬼」

高知県西部や愛媛県南伊予地方周辺の神社祭礼には、「牛鬼」という特有の練り物が登場します。今回展示した牛鬼は、愛媛県宇和島市で制作されたものです。こちらの牛鬼は、全長約5～6mもあります。本来竹で作られた全身は、

赤い布やシュロで覆われており、尾の部分は剣の

ような形に作られます。牛鬼の頭には大きな二本の角が生えており、顔は鬼のように恐ろしい表情をしています。牛鬼の正体ははっきりと伝承されていませんが、徳島県などでは、顔が鬼で体が牛の恐ろしい獣が退治されたという伝説が伝わっており、牛鬼との関連性が考えられます。

宇和島市の祭りでは、多くの青年たちが牛鬼の大きな体を担いで、神輿の先導役として家々を巡ります。家を巡り歩くとき、牛鬼は家々に長い首を突っ込むことで魔を祓います。また、子どもたちが竹ぼらを「ブーブー」と鳴らしながら牛鬼と共に歩きます。青年たちが「ヤレヤレ」と囃し立て、子ども達が「ブーブー」と鳴らすことから、牛鬼を「ブーヤレ」ともいいます。

牛鬼の姿は一つに限らず、鬼のように恐ろしい顔もあれば、ユニークな顔の牛鬼もあり、地域によってさまざまな姿形をしています。企画展終了後、牛鬼は常設展示室で展示されますので、是非一度その姿をじっくりと御覧ください。

鬼

カフェ

● No.8



岩崎鬼剣舞スポーツ少年団育成会
会長 門屋 龍一さん

民俗芸能の伝承の難しさが語られている昨今、50年にわたり、鬼剣舞を通して子ども達の健全育成を願い活動を続けてきた団体があります。岩崎鬼剣舞スポーツ少年団です。門屋龍一さんは育成会の会長に就任して11年が経ちました。「子ども達が笑顔で踊っているのを見ると、育てていかねばと思う」と話してくださいました。

50周年を迎えるにあたって

岩崎鬼剣舞スポーツ少年団は、今年で50周年を迎えます。これも岩崎鬼剣舞保存会、地域の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

民俗芸能の伝承と子ども達の健全な育成を願い、スポーツ少年団が創設されたのは昭和44年、和田房吉さん(師匠)が始めた鬼剣舞道場がきっかけでした。平成20年小学校が統合され新生いわさき小学校が誕生しましたが、岩崎鬼剣舞スポーツ少年団は継続されることとなり、現在北上、奥州市の小学1年生から中学3年生

まで60名ほどが在団しています。

50年の歴史の中には様々なことがありましたが、スポーツ少年団の誓いの言葉通り、踊り続ける子供達の更なる成長を願い、育成会を続けていきますので、今後ともご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



岩崎鬼剣舞スポーツ少年団の皆さん

岩崎鬼剣舞スポーツ少年団
～ 誓いの言葉 ～

私たちは 民衆の幸せを願い
五穀豊穡 疫病退散を祈り
舞い踊った祖先の心を受け継ぎ
伝統を守り続けるため
鬼剣舞を踊ります

— おに散歩 —

鬼が造った石段のお話

秋田県男鹿市には、標高約180～190mの小高い山の中腹に赤神神社五社堂があります。五社堂までは、999段あるといわれる石段を登ります。素朴で荒々しいこの石段は、鬼が積み上げて出来上がったものと伝えられています。伝承によると、以下の通りです。

中国の漢の時代、武帝は不老不死の薬を求め、鬼に変身した五匹のコウモリと共に男鹿にやってきました。鬼たちは、1月15日に山から里に下りて、家畜を荒らしたり、娘をさらったり、悪事を行っていました。困り果てた村人は、武帝に「鬼たちが五社堂まで1,000段の石段を一晩で積み上げることができたならば、毎年村から娘を一人ずつ差し出す。できなかった場合は、鬼たちを里に下ろさないでほしい」と頼みました。鬼たちは、あっという間に一晩で999段の石段を積み上げました。焦った村人は、「コケッコー」と鳥の鳴きまねをしました。朝がきたと勘違いをした鬼たちは、山に帰り、二度と悪事を行うことはありませんでした。

鬼が願いを叶えるために石段を積む伝説は、宮崎県や大分県にも伝わっています。お話の詳細は



鬼が造った石段(秋田県男鹿市)

それぞれ異なりますが、共通するポイントが3点あります。

- ①一晩で1,000段の階段を完成させると鬼の願いが叶う。
- ②999段積み上げたとき、人々は鳥の鳴きまねをする。鬼は、夜が明けたと勘違いする。
- ③結局、鬼の願いは叶わなかった。

自分勝手な振る舞いをした鬼たちですが、あと一息のところまで願いが叶わず、ちょっぴり可哀そうな印象を受けます。お立ち寄りの際は、鬼が造った石段を登ってみてください。

令和元年度下半期事業のお知らせ

□ 特別展・企画展

- ・11月2日(土)～2月11日(火・祝)
鬼と女のものがたり
- ・3月1日(日)～4月5日(日) オニの思い出

□ 芸能公演

- ・10月6日(日) 谷地鬼剣舞
- ・10月27日(日) 二子鬼剣舞
- ・11月3日(日・祝) 滑田鬼剣舞
- ・12月1日(日) 鬼柳鬼剣舞
- ・3月22日(日) 御免町鬼剣舞

□ イベント

- ・10月28日(月)～11月2日(土) ワールドウィーク
- ・2月2日(日) 福豆鬼節分会

□ 体験会・講座

- ・2月～3月 鬼学講座 (全2回) ※要申込
- ・1月～2月 冬季鬼剣舞体験
鬼っこわんぱく講座 (全6回) ※要申込
鬼剣舞ちょっぴり見学体験会 (全2回)
- ・12月～1月 冬休みワークショップ ※要申込
- ・毎月第3日曜日 鬼ZZの日



鬼剣舞衣装着付け体験



和紙お面づくり

事業報告

●企画展・特別展

特別展「新収蔵資料展」

4月20日(土)～6月16日(日) 5,220人

8月25日 相去鬼剣舞

門岡念仏剣舞

観客 148人

9月22日 御免町鬼剣舞

観客 207人

●逢魔が時ナイトミュージアム

9月7日(土) 観客 159人

●芸能公演

4月28日 北藤根鬼剣舞 観客 133人

5月3日 鬼柳鬼剣舞め組
黒沢尻鬼剣舞 観客 258人

5月12日 相去鬼剣舞ジュニアクラブ
飯豊鬼剣舞少年団 観客 98人

5月26日 岩崎鬼剣舞 観客 105人

6月23日 黒岩鬼剣舞 観客 99人

7月28日 口内鬼剣舞 観客 106人

8月3日 岩崎鬼剣舞 他 観客 174人

※第58回北上みちのく芸能まつり会場として

8月14日 岩崎鬼剣舞 観客 249人

●鬼っこわんぱく講座

5月5日 こどもの日わくわくイベント 参加者 827人

夏季鬼剣舞体験 参加者 13人

7月14日・20日・27日・28日・8月11日・14日

鬼剣舞ちよびり見学・体験会

7月27日・28日 参加者 18人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月22日

和紙面づくり (イベント等での面作りを含む総数) 参加者 167人

鬼剣舞衣装着衣体験 参加者 97人

冬休みワークショップ

7月30日 鬼の影絵あそび 参加者 5人

8月4日 和紙で作るオニのツノかざり 参加者 1人

8月10日 鬼剣舞和紙お面づくり 参加者 14人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
- ・館内整理日(11月27日～11月30日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

交通利用

- ・JR北上駅より車で約20分
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

学芸ルームのかたすみで・・・

4月から鬼の館でお世話になり、鬼剣舞や神楽など、今まで知らなかった民俗芸能の世界をのぞかせていただきました。子供達と触れ合うイベントも多く、和紙でお面を作ったり、折り紙で鬼を作ったり。気が付けば任期もあとわずか。最後まで笑顔でお客様をお迎えしたいです。(後)

北上市立鬼の館だより

第 51 号 2019(R1).10.1

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508

入館料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。

*共通観覧券は鬼の館の他、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

*北上市定住自立圏(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。

手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき、同行者5名まで無料となります。

受付の際に消防団員カードをご提示ください。

